

| | |
|------------|--------------|
| 青少年人口 | |
| 男 | 9,839人 (-42) |
| 女 | 9,482人 (+46) |
| 計 | 19,321人 (+4) |
| 令和3年5月1日現在 | |
| ()内は、前年度比 | |

※ 6歳～24歳人口の合計

あきしまの青少年

NO.263
2021
5/31

編集・発行/昭島市青少年問題協議会事務局 (昭島市子ども家庭部子ども育成課内) 〒196-0012 昭島市つつじが丘3-3-15 ☎042(544)4313

おもな内容

- 1面 昭和公園 蒸気機関車D51が甦りました！
- 2面 子ども育成課事務室移転のご案内/ちょっと一息の昭島散歩！/地区委員の活動紹介/4コマまんが

昭和公園 蒸気機関車 D51が甦りました！



昭和46年から市立昭和公園で展示されている蒸気機関車D51-451号機は約半世紀の間、市民の皆さんに愛されながら静かな余生を過ごしてきました。しかし、長年の風雨にさらされ劣化が進んでいましたが皆さまからたくさんのご支援をいただき、令和3年3月に補修・塗装工事が完了し、鮮やかに甦りました。



「デゴイチ」が昭島市へ



中神駅に到着したD51

「デゴイチ」の愛称で親しまれているD51型蒸気機関車は、昭和11年から昭和20年までに千百十五両製造されました。昭和公園に展示されている「D51・451号機」は昭和15年2月に製造され、東京・仙台・高崎など全国で旅客や荷物の輸送に活躍し、関東・東北地方を中心とした産業や経済、文化の発展に貢献しました。

昭和42年に横浜の新鶴見機関区に配属となりましたが、電気モーターなどの動力の近代化が進むとともに昭和45年11月に引退となりました。

「D51・451号機」は引退するまでの30年間で約176万キロメートル走りました。これは地球を約44周、また地球から月への距離に換算すると2往復走ったこととなります。

引退後の昭和46年4月に、市民の皆さまやこれからの未来を創る子どもたちの夢を育てるために、当時の国鉄(現 東日本旅客鉄道)から譲り受けて、昭和公園に展示を開始しました。



昭和公園に到着したD51



昭和公園まで運搬・設置中のD51



未来のごどもたちへ

今でも多くの人に愛されている「デゴイチ」ですが、製造から80年が経ちました。時間の経過とともにデゴイチも傷みが目立ってきました。近年では安全のためにフェンスで囲い、見学を中止していましたが、休日になると子ども連れの家族や、鉄道愛好家のかたなど多くの人々が訪れ、写真撮影をしていました。

市ではこれからも多くの人々に昭島に興味を持ってもらえるように、令和元年から「デゴイチ」の改修工事費用を募り、準備を進めてきました。



昭和46年設置当初のD51

昨年12月22日から改修工事を始め、約3か月の工事期間を経て、今年3月にデゴイチが甦りました。

現在、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために見学を中止していますが、新型コロナウイルスの感染状況が改善された際には日中は自由に見学できるようにする予定です。その時はぜひ甦ったデゴイチを見て、触れて、学んでください。



キレイになったD51

改修のための寄付にご協力をいただき、ありがとうございます。また(寄付の受付は終了しました。)

皆さまのご支援により、当初の目標額800万円を達成することができました。

クラウドファンディング 寄付金額合計

11,769,479円

(令和3年3月31日 現在)

心より感謝申し上げます。